

15春闘勝利のために

3月16日－郵政ユニオン 3月18日－NTT職場でN関労、電通労組、全国一般東京労組が統一ストライキを貫徹！

中小・非正規労働者の大巾賃上げ、労働法制の全面破壊を阻止しよう！

3月16日、郵政ユニオンは大巾賃上げと期間社員の正社員化、処遇改善を求めて全国24拠点でストライキを実施した。東京の玉川郵便局を始め、北海道から九州まで各地に拠点を設定して貫徹した。11時30分からストライキに参加した組合員も結集して、頑なに「ゼロ回答」を続ける郵政本社前で集会を開き誠意ある回答を迫ったのである。ストライキには多くの期間社員も参加し、処遇改善へむけて不退転の決意を表明した。このストライキは郵政本社から同日夜刻には「期間社員の処遇改善については検討したい」という回答を引き出している。闘いなくして成果はないのである。

3月18日、大手企業の集中回答日にはNTT職場の仲間が早朝からストライキに突入した。電通労組、N関労、全国一般東京労組の三労組は合同でNTT東日本本社前終結して、地域の仲間の支援を受けスト突入集会を行った。NTT職場では西日本管内で大阪電通合同労組などが3月11日に統一行動が取り熊あれており、また、東北や千葉支店などでもストライキが闘われた。

アベノミクスの失敗を覆い隠す・・・JC回

格差拡大を許さず、法人税減税の取引にさせるな！

3月18日、大企業労組に示されたJC回答をマスコミは史上最高のベアが実施され、これで日本の景気は好循環するかのようになり立ってた。日産の5000円を筆頭にトヨタが4000円、電機では3000円のベアが実施されるという。一時金の要求にはほぼすべての企業が満額で応じている。非正規労働者の年収を超える一時金が保障されるのだ。ところがトヨタの期間従業員は1日300円という雀の涙(要求?の満額だが)の賃金引き上げが回答され、非正規の人たちにも「賃上げ」が行われるという。しかしこれでは正社員と期間従業員の格差は益々開くばかりである。まやかしを許してはならない。

連合の古賀会長は18日、記者会見で「経済の好循環へ一定の道筋をつけた」と評価している。しかし、トヨタでは2兆円を超える史上最高の利益をあげながら、ベアが4000円にとどまっている。そして円安を受けて最高利益を上げる大企業労組への回答が中心の連合第一次集計(3/20時点)では7,497円(2.43%)であり消費税引き上げ分3%にも満たないのである。今後中小企業の回答ではベアも困難であり、数字も下がることは必至である。朝日新聞(3/24)は非正規労働者にも大巾賃上げが進んでいるかのように報道している。連合集計(第一次)によると時間給19.67円、(前年比7.7円)、月給4,188円(前年比1,220円)の引き上げであり、生活必需品の高騰・消費税増税に全く追いつくことはできていないのである。経営側は正社員の非正規化を進めている時、厳しく経営に迫ることなく、闘いもなく易々と賃上げは実現しないのである。

また、2010年の雇用戦略対話・政労使合意による「2020年度までに最低賃金を全国平均1000円に引き上げる」という約束がされているが一向に実現のための動きが伝わってこないのである。最低賃金引き上げは非正規・未組織労働者の賃金引き上げに大きく貢献している。春闘の渦中にこそ、政府へ実現を求めていかなければならない。これも労働組合の重大な任務である。

企業は史上最高の利益を上げながら、その利益は内部留保と株主配当に当てようとするのであり、私たちは闘いによって正規・非正規の差別なく労働者へしっかり分配させなければならぬのである。そして法人税として納税させ、社会保障の充実のための原資として供出させるのでなければならぬ。「官製春闘」を法人税減税や労働法制改悪の取引の具にさせてはならない。

三単産・脱原発キャラバン隊 (3月20日)

原発再稼働反対！海外輸出反対で経団連へ抗議行動

「原発のない福島を！県民集会」(3月14日)から出発した全港湾・全日建全国一般全国協の三単産によって取り組まれてきた脱原発キャラバン隊と15けんり春闘は合流し、川内再稼働反対！原発の海外輸出反対！福島人々へ補償を行うように経団連に対して申し入れ行動を行った。脱原発の闘いも正念場である。

中小・非正規労働者の春闘勝利へ支援を拡げよう！

東京東部労組メトロコマース支部

3月24日～27日 社前座り込み闘争(8:30～17:30) 上野駅前

4月1日(水) 15:00 ストライキ突入予定

15けんり春闘中央総行動

4月9日(木) 18:00～ 交通ビル 15春闘勝利総決起集会・デモ